



三郷市立栄中学校だより

令和5年3月1日
第11号

澆刺颯爽 栄中

～熱意・誠意・鍛錬～

生徒数 1年152名 2年138名 3年166名 計456名

目指す生徒像
礼儀正しく、
本気でやり遂げる
生徒
～あはは学校～

さらなる成長を

校長 牧 野 正

2月14日、「続いて、三郷市立栄中学校の発表です…」という紹介の後、プレゼンテーションが始まりました。場所は鷹野文化センター、テーマは「食品ロスを減らしたいっ!」です。与えられた時間の中、3人のプレゼンター達は、それぞれの役割を進めていました。結果は優秀賞、あとで3人に感想を聞くと「自分たちの意見を発表できたよい機会だった」「私たちのクラスは残食が少ない、そのことは環境問題にも関係あるのではないかと考えた」「プレゼン資料の出来は85%くらい…」というそれぞれ違った視点で感想を話してくれたのが印象的でした。客席で参観していましたが、3人がそれぞれの役割を分担し、それぞれの個性が発表に活かされていました。よく頑張りました。

令和4年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を継続した状態で始まりましたが、修学旅行、体育祭、合唱コンクール、スキー教室と少しずつ実施できる学校行事が増え、それぞれの場面で生徒たちが活躍している姿を見ることができました。

また、学校としても学力向上推進研究の委嘱発表を11月に行い、研修主任を中心とした組織的な取組を進め、今年度までの成果として発表することができました。

「学校は生徒が主役」という言葉をよく聞きますが、生徒たちが安心して自分の取り組むべき内容に集中できるようにするため、たくさんの方々が関わっています。毎日の生活を支えてくださっている保護者の皆様、あいさつ運動、交通安全等でお世話になっている地域の方々、もちろん、我々教職員も個々の良さを引き出すための支援を続けてまいりました。たくさんの方々の協力があり、毎日の学校生活を進めることができました。ありがとうございました。

3月15日、第49回卒業証書授与式が予定されています。卒業生たちは中学校3年間という時期をどのように感じ、どのように節目の日を迎えるのでしょうか。1人1人の個性が違うように、感じ方、考え方は違うはずです。しかし、全員に共通していることは、この栄中学校で中学生という時期を過ごしてきたことです。この栄中学校で過ごした時期はどんな3年間だったのか、楽しかったという感想もあるかもしれませんが、辛かったという感想もあるかもしれません。どちらも同じ3年間ではありますが、受け取り方は様々だと思います。どうせなら、楽しい3年間にさせてあげたいというものですが、学校は学習する場です。時には苦手なことにも取り組まなければならない場面があります。そんなとき、一人では解決が難しい課題であっても、仲間たちと知恵を出し合い活動を共有することを通して、少しずつできることが増え、その経験が自信となり、次へのステップにつながっていく。こうしたプロセスを繰り返しながら、新しい生活へ踏み出す勇気を持たせること、とても大切なことであると思います。

少しずつですが、暖かさを感じる日が増え、春が近づいています。校内の木々にも新しい芽が見られるようになってきました。確実に時間は進み、校内の植物たちも新しいステップに進んでいます。まるで、節目の日を間近に控えた卒業生たち、そして、新しい学年に進級する在校生たちにエールを送ってくれているようにも感じます。

令和4年度、大変お世話になりました。次年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。



下記の予定は3月1日現在の予定です。変更する場合もありますことを御理解ください。

日	月	火	水	木	金	土
26	2 7 テスト再試日	2 8 ⑤⑥生きる教育講演会(3年生)	1 ノ一部活動デー ②支援籍交流(1-4)リモート	2 なし日程 専門委員会	3 埼玉県公立・千葉県立発表	4
5	6 埼玉県公立追検査 ③④性に関する指導(3年生)	7 S C 来校	8 埼玉県公立追検査発表 ノ一部活動デー	9 なし日程 中央委員会 3年球技会	1 0 1年保護者会 5時間授業	11
12	1 3 ①②卒業式予行 ③④卒業生と在校生を結ぶ会 3年生給食終了 表現力テスト(数)	1 4 ⑤⑥卒業式準備 水曜授業 3,456+準備	1 5 卒業証書授与式	1 6 片付け なし日程 61234	1 7 1,2年給食終了 3456 2年生保護者会 15:30	18 ※吹奏楽演奏
19	2 0 1年球技会 表現力テスト振り返り(数)	2 1 春分の日	2 2 ノ一部活動デー 2年球技会	2 3 集会・学活・大掃除	2 4 修了式 ふれあいデー	25
26	2 7 学年末休業日	2 8	2 9	3 0	3 1	1
2	3 1日より春季休業日	4	5	6	7 準備登校	8
9	1 0 午前入学式 午後始業式	1 1 45分なし日程 避難訓練 発育測定 教科書配布	1 2 給食開始 ノ一部活動デー 新入生歓迎会 5時間授業	1 3 なし日程 専門委員会 5時間授業	1 4 5時間授業	15 PTA 資源回収 花咲かせ隊
16	1 7 A時間割スタート	1 8 全国学力・学習調査(3年) テスト日程	1 9 ノ一部活動デー 全校保護者会 (日程は19, 20, 21で現時点未定)	2 0 なし日程 中央委員会 全学「話すこと」調査(3年)	2 1 1年生総合検診(午前) ふれあいデー	22
23	2 4 生徒朝会・表彰 51234	2 5 集金日	2 6 ノ一部活動デー	2 7 なし日程	2 8	29 昭和の日

※ 吹奏楽部演奏会（詳細裏面）

日時 3月18日（土） 12:00～ 三郷市立栄中学校

場所 ららぽーと新三郷 スカイガーデン1階 緑の広場

各学年の取組

1 学年	2 学年	3 学年
栄中学ギネス	栄中学ギネス	栄中学ギネス
		
進路適性検査	修学旅行に向けて	面接練習
		

※プレゼンテーションコンテスト

1, 2年生の合同チームで、参加しました。自分が主張したいことを、クラスや家族などからアンケートを実施し、理論を裏付けをしたり、他の文献を参考にし理論を構成してくれていました。何度も練習をし、自分の伝えたいことをしっかり伝えることができていました。その努力が実を結び。市内で3位の優秀賞を取得しました。



本校のホームページでは、生徒の活動の様子や、学校からのお知らせを配信しています。
ホームページアドレス www.edu.city.misato.lg.jp/sakaechu/

ららぽーと新三郷
三郷市 小中高
吹奏楽
演奏会!

三郷市内小学校・中学校・高等学校による
吹奏楽の演奏会を行います!
ぜひお越しください!

日時 3月18日(土)
会場 スカイガーデン1F
みどりの広場

スケジュール

11:00~
三郷市立丹後小学校

12:00~
三郷市立栄中学校

12:45~
三郷市立早稲田中学校

13:15~
三郷市立瑞穂中学校

14:00~
埼玉県立三郷北高等学校

令和4年度学校自己評価結果・学校関係者評価結果

評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.70	4.00	・昨年度より向上がみられた。特に市の研究委嘱や学校行事の開放に伴い、教育活動の方向性を教職員間で議論することができた。学校としてベクトルを合わせた教育活動を展開することができていると考えられる。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.39		・前年度より向上がみられたので、学校教育目標の具現化に向けたプロセスの中で、学年・学級・分掌がそれぞれに機能していると考えられる。「PD」だけでなく「CA」にまで力を置き、さらなる向上を図りたい。
		3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.22		・市の委嘱「学力向上推進教育」の2年間の研究の成果をうけ、教育内容のさらなる重点化を進めていく。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.26	3.33	・昨年度より向上がみられた。「夢」を大段上に構えるのではなく、一つ一つの目標の集合体とも捉え、今後も「なりたてい自分」を描かせた教育を進めていく。
	資質向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.96		・全体打合せや各種会議の場で、倫理確立委員会による研修、情報共有を行っている。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.57		・三郷市「グッジョブウィーク」を活用し、教職員の良さや感謝の気持ちを見える化すること、教職員の達成感、学校への帰属意識が高まっていると考える。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.70		・学校独自の学習アンケートを定期的にとり、「主体的」「対話的」「深い学び」の実現に向けた各教科の方策を検討するなど実態把握と指導改善に努めることができた。
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.74		・三郷市の授業振り返りチェック10を意識し、授業を行うことができた。基礎的・基本的な学力は身につけているので、それらを活用する学習展開の中で、基礎との関連を強く、さらなる向上を図る。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.70		「チャイム」「聴く姿勢」「あいさつ」に特に重点を置き、指導を行っている。学習環境に乱れが見られるクラスがあるので、授業の心得10か条を常に意識した指導を徹底する。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.70	4.00	授業評価を実施し、1時間1時間の授業の様子を学級で振り返り、共有できるようにしている。授業評価は目的ではなく手段であり、また、一部の生徒の言動で学級全体を一括りにしなど、評価の適切な活用に気を付けなければならない。
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.83	4.00	・メディアセンターの充実、司書の活用、授業での利活用により、図書館経営の充実と読書活動の推進を図っている。学年が上がるにつれて図書館から足が遠のいてしまうことへの指導が課題である。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.74	4.00	・朝読書、教職員お薦めの本の学校便りの紹介等は継続している。全校での「家読ゆーびん」「校内家読ゆーびんコンクール」「一緒に読もう!新聞コンクール」などの取組により、一体となって指導を進めることができている。
	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.78		・栄養教諭による全学級での栄養指導の実施している。市内でも残食は少ないことは指導の成果といえる。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.43	3.78	・保健体育授業における運動の楽しさを味わわせるような授業や昼休みの体育館開放を通じて意欲を高める取組を行っている。
	進路指導	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道德教育の改善に取り組むとともに道德教育を積極的に推進している。	3.35		・学年担当教師全員によるローテーション道德を実施している。指導事項の確かな指導とともに、教職員の個性を生かした授業を行っている。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うとともに、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.39		・道德の授業のみではなく、学校で起こる様々な出来事に対し、学級・学年・学校で考える機会をもち、他人事ではなく自分事として捉えることで道德性の涵養を図っている。
	指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.43		・「生徒があの教師」を目指す教師像の実現に向けて、率先垂範を意識した指導を行っている。前年度まで低下を続けていた項目であるが、今年度は4ポイント近く向上した。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.48	4.00	・コロナの影響による「発声」への意識は、まだ難しい部分がある。声の大小に限らず、心を込めて、姿勢を通じて相手に伝わるように、挨拶の意義に立ち返り、今後とも指導を進めていく。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.65		・教員の率先垂範とともに、TPOに応じた言葉遣いの指導を行っている。言語環境の重要性を認識し、今後も指導を行っていく。
		20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.57		・生徒指導部会、教育相談部会を定期的に実施し、情報交換と対策の検討を行っている。教育相談ではSOSによる専門的な見立てとアドバイスを活用している。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.70		・保護者会や面談、日常的な連絡により、保護者との連携を図っている。ケースによっては関係機関と連携し対応している。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.78	4.00	・定期的なアンケートを実施している。アンケートだけでなく、学校生活の様子を観察し、生徒理解を行っている。「アンケートによる訴え」という「表」に出る前にいじめに兆候をつかめるかが重要である。
家庭・地域との連携状況	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.57		・学校の初期対応マニュアルを職員室に掲示し、いつでも確認できるようにしている。各教室には事故があった場合のマニュアル、指示カードがあり、迅速な対応への体制をとっている。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.70	4.00	月に1度の安全点検に限らず、危険な箇所や破損などは日常的に確認している。自転車通学に関する指導を事例の紹介とともに言い、安全意識の向上を図っている。
	教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.39	3.22	・改修工事を終え、今後の環境を見据えながら、徐々に掲示物を充実させている状況である。
		26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.09		・会議、行事の精選、ノ一部活動デーの実施、ふれあいデーの定時退勤などの取組を進めている。働き改革の目的を再確認し、今後とも取組を行っていく。
	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.52	4.00	・日々の生活や行事の情報発信は各種通信等を中心に行っている。学校HPと関連させることで、さらなる情報発信に努めていく。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	2.74	3.11	コロナ禍で活動が制限されており、実施が難しい部分もある。引き続き、どのような活動ができるのかを協議しながら、活用できるようにしたい。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.13	3.11	・PTAとの連携として「資源回収」を行っている(4月・7月・12月実施)。 ・学校応援団や育成会の協力を得て、毎日朝のあいさつ運動を実施している。